

MSUB 交換留学報告書

文学部英語英米文学科 4年

山内麻名

私は、モンタナ州立大学ビルングス校に交換留学生として約9か月間滞在していました。結果から言えば、この留学は個人的には大変満足いくものでした。この報告書では、主に学習面と経験面の二つのことを軸にレポートしようと思います。

まずは学習面についてです。英語力の向上はもちろんのこと、自分の専攻分野である異文化コミュニケーション学をより詳しく学ぶことができたいい機会でした。特に、後期で受けた Women Society and Culture という授業では、女性の社会的な立場について詳しく学習する事ができました。ジェンダーに関して世界でもトップクラスに最先端なアメリカでジェンダー学の授業を受けることができたのは刺激的な体験だったと言えます。



専攻だけでなく、新しい挑戦として第二外国語の習得も実践しました。MSUB で韓国語の授業を履修し、前期後期ともに最上である A の成績を取ることができました。韓国語の習得は個人的に非常に楽しいもので、日本に帰ってきてからも継続して勉強し続けたいと考えています。ネイティブスピーカーの生徒さんたちと全く同じ内容の授業を受け、同じ内容のテストを受けるのは大変ではありましたが、それだけにいい成績を修める

ことができたのは自分の自信にもつながりました。

次に経験面です。私たち交換留学生は原則として寮で生活することになっていますが、寮では様々な国から来た交換留学生たちと交流することができて非常にいい経験になります。留学生同士で友人となることも多く、グローバルな経験ができます。様々な国の留学生と交流できる機会は寮だけではありません。MSUB には留学生を支援する機関である International Office があり、その機関が留学生に向けてショートトリップの提案をしてくれます。Yellowstone への日帰り旅行、Bozeman へのショートトリップなど、私たち留学生はモンタナを代表する様々な場所へ訪れ、留学生同士での絆を深めることもできます。



学内のイベントも盛りだくさんで、前期には日本にフィーチャーした Japanese Festival が開催されました。日本からの留学生である私は開催側としてイベントの手伝いをし、様々な人と交流することができました。もちろん、モンタナに住む現地の人達とも MSUB が実施する BFF (The Billings Friendship Family Program)プログラムなどを活用することで交流することができます。このプログラムで交流した家族は週末に会うホストファミリーのような役割をしてくれ、モンタナでの生活をサポートしてくれました。上記の通り、学習面でも経験としても、モンタナでの留学生活は非常に満足のいく結果だったと言えます。

